

## 第5回 昭島市男女共同参画推進委員会

### 議 事 要 旨（案）

〔日 時〕 令和7年7月29日（火）18：30～20：15

〔場 所〕 アキシマエンス校舎棟 男女共同参画センター

〔出席者〕

- 1 委員： 金野美奈子委員長、柴田邦臣副委員長、上川純子委員、定森夏子委員、長谷部高史委員、牧野愛子委員、向井翔兵委員、森川民子委員
- 2 事務局： 滝瀬子ども家庭部長、吉田男女共同参画・女性活躍支援担当課長、
- 3 傍聴者 0名

〔配付資料〕

- ・ 昭島市男女共同参画推進委員会委員名簿
- ・ 令和6年4月組織改正について
- ・ 昭島市男女共同参画プラン令和6年度進捗状況報告書・モニタリング調査一覧
- ・ 担当課評価点数内訳
- ・ 目標Ⅰ～Ⅳ担当部署評価内訳
- ・ 昭島市男女共同参画推進委員会評価基準
- ・ 令和6年度進捗状況委員評価及び意見一覧（目標Ⅰ、Ⅱ）

〔議事要旨〕

#### 1 開会

資料の確認

新委員（定森夏子委員）委嘱状交付

委員自己紹介

#### 2 議題

##### （1）男女共同参画プラン令和6年度進捗状況調査結果について

◇目標 1 多様性を認め合い、全ての人が尊厳を持って暮らすことができる意識づくり

施策の方向 1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成

①男女共同参画に関する理解の促進に向けた情報提供・啓発の推進

No.1 男女共同参画に関する情報提供・啓発活動の充実【男女共同参画・女性活躍支援担当】

新規事業：男女共同参画週間中に初のパネル展を開催。

継続事業：セミナー参加者も増加。評価上昇。

No.2 男女共同参画に関する男性の理解の促進【男女共同参画】

男女共同参画情報誌「Hi, あきしま」58, 59号にて、アンコンシャス・バイアスの記事を掲載。

セミナー「親と子のおかたづけ講座」は参加者の男性は1名だが、男児8名の参加があり、好評。

評価上昇。

④固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進

No.8 メディア・リテラシー向上に向けた啓発の推進【男女共同参画】

関連セミナーの開催に至らず評価下降。

◇目標 2 女性活躍とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進【昭島市女性活躍推進計画】

施策の方向 4 あらゆる分野における女性活躍の推進

②女性のキャリア形成に向けた支援

No.20：女性の起業・創業のためのキャリア形成、相談支援の充実【産業活性課】

ワンストップ創業相談窓口、利用者数増加、女性の利用者数18人から22人に増加、評価上昇。

施策の方向 5 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの実現

①ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進

No.24：ワーク・ライフ・バランスについての啓発【産業活性課】

令和5年度は他市開催のセミナーチラシ配布、令和6年度は東京都労働相談情報センターと共催で労働セミナーの開催。評価上昇。

No.25：多様な働き方に関する普及啓発【産業活性課】も同様、評価上昇。

No.25【男女共同参画】ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催出来ず、評価下降。

②事業所におけるワーク・ライフ・バランスについての意識啓発

No.26：事業所への働きかけと支援【産業活性課】

中小企業者は、慢性的な人手不足や原油価格・物価高騰等の経済悪化に伴う経営悪化も見受けられ、ワーク・ライフ・バランスの実施に困難な様子があり、評価下降。

No.26：【男女共同参画】

商工会との連携について、相互の情報交換も含め検討したいことから、評価下降。

No.28：市男性職員に対する育児・介護休業の取得促進【職員課】「取組の内容」欄

委員からご指摘があり、令和6年度の育児休業取得男性職員の人数は8名と修正。

施策の方向 6 家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの実現

①子育て支援サービスの推進

No.30：子育て支援サービスの充実【子ども育成支援課】活動件数の減少。評価下降。

No.31：学童クラブの充実【子ども育成支援課】「課題と今後の予定」欄

新学童クラブ、令和6年4月、5月と開設。登録児童数増加、待機児童数減少、評価下降。

No.32：子育て支援に関する啓発・情報提供及び相談支援の充実【子ども育成支援課】

「評価の理由・事業の効果」欄、委員からご指摘あり、ご質問のとおり発行数は減少。

重複配布を避けるためデジタルブックの採用し周知に努めた。両方を活用希望もあり情報発信に寄与。

③男性の家事・育児・介護等の参画の環境整備

No.36：男性の家事・育児・介護のスキルアップのための学習機会の提供【介護福祉課】

介護サービス体験型家族介護者教室を開催。令和5年度より13人多い男性介護者の参加があり、評価上昇。

目標Ⅰの事業数一つ増加、評価aが2個増加、評価bが1個減少、評価点数合計4点増加。

目標Ⅱの事業数変更なし、評価bが1個増加、評価cがゼロとなり、評価点数合計1点増加。

☆今の説明に対し、質問はあるか。無いようなので次の議題に参りたい。【金野委員長】

(2) 男女共同参画プラン目標Ⅰ、Ⅱの評価について 14:50

☆資料を見ながら、主要施策ごとに委員会としての評価を行う。事前に評価を行っているが、今日の議論において、評価の変更があれば申し出願いたい。また改善のアイデア等あれば意見願いたい。【金野委員長】

目標Ⅰ 1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成

①男女共同参画に関する理解の促進に向けた情報提供・啓発の推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	優	優	優

☆先程の説明にもあったが、大変充実している。セミナー等の一層の参加者の拡充が図られている。何か工夫があったのか。【金野委員長】

◇広報について、市公式LINEも活用し、それを見ての参加もあった。「大人のアンガーマネジメント講座」では、男性の参加者も多かった。タイムリーなテーマでもあり、DV等被害の軽減の観点からも開催して良かったのではないかな。【事務局】

☆評価の決定： 優 ：【金野委員長】

②SDGs等国際的視点の反映と多文化共生の推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	可	良	可	良	良	良

☆長谷部委員のやや受け身的な姿勢ではないかというのはどのようなことか。【金野委員長】

◆例年あまり変わっていないという印象。近隣で工場が増えており、外国人労働者が急激に増えている印象。街中でも外国人を多く見かける。GLPの開発が推進し、今以上に増加が推察される。この分野に対しても少し積極的に推進、もしくは注力しないと、需要に追いつかなくなるのではないかな。現段階ではそう感じる。【長谷部委員】

☆相談に来たら、という受け身的なものではなく、より積極的にニーズ把握を行った方が良いということか。労働者は必ずしも市内に居住していないかもしれないが、住民登録も増えてきているということであるか。【金野委員長】

◇外国人の住民登録は増加している。市内でも多く外国人の方を拝見する。この提言を庁内に伝え、前向きに検討し、推進できると良い。【事務局】

☆評価の決定： 良：一層力を入れて欲しい。【金野委員長】

③関係法令・制度に関する情報提供及び制度・慣行の見直しに向けた啓発・情報提供

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	良	良	良	良	良

☆難しいテーマではあるが、提案等も含めて何かあるか。向井委員からの質問で配布部数の集計について、集計していないということであるが、情報提供については効果がどれくらいあったかと把握するのが難

しい。情報ツールを配布したという一つの目安となる。最初に何部、残部が何部でおおよその数字だけでも把握願いたい。【金野委員長】

- ◆評価するに当たって、文面から読み取ることと担当課評価を基に評価する。担当課で実施したことはすぐわかるが、実施したことに対してこれぐらい効果があったので、来年度こうしていきたいとか、効果が薄かったので廃止するとか、記載があるともう少し評価がしやすい。【向井委員】

☆記載の方法等を検討願いたい。【金野委員長】

- ★秘書課でも概数で良いので配布部数を知りたいのではないかと。評価が a でなく b というのであれば、来年度からでも概数の把握してもらい、記載いただければ幸いである。【柴田副委員長】

☆評価の決定：良【金野委員長】

#### ④ 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	優	優	優	優	優

☆多くの事業を推進し、かつ事業内容も評価できるとのコメントが有る。良の評価の長谷部委員、メディア・リテラシーに対する取組について、気付いた点はあるか。【金野委員長】

- ◆メディア・リテラシーについての取組は、難しい所である。以前のマスメディアとは違い、大人が子供達を管理できる状態ではなくなっている。小中学生が幅広いメディア、SNSを通じて偏った意見を受け止め、思考が偏ってしまっているように危惧があり、きめ細かい対策が必要と考える。ジェンダーの面では良く活動しているが、メディア・リテラシーについてのみマイナス評価として良とした。【長谷部委員】

☆個人的には大きな大切な問題だと思う。若年層のメンタルヘルスのにも関わっているという指摘もある。

言葉の広がり方は大きい。事業の中でもSNS等の対策についても、引き続き検討願いたい。【金野委員長】

- ★SNS等への対策については、この項目で対応となる。時代的にも極めて重要なターニングポイントを迎えつつある。市としても早めに対応を。今後、SNSについての取組について、担当として意識していないかと思うが、当委員会としても重視していきたい。是非、情報提供も必要であるし、非常に期待している。【柴田副委員長】

☆相談レベルで寄せられることもあるのか。【金野委員長】

◇若年層のSNSについての相談は、当課より他部署にて相談を受けている。SNS等の対策について、学校でも授業の中で行われている部分もあるのではないかと。【事務局】

☆定森委員、学校ではどのような状況か教えてください。【金野委員長】

- ◆SNSの利用について、トラブルは多くある。学校では基本的にはセーフティ教室があり、SNSに限ったことではないが、昨今は取り上げることが多い。色々な機会、長期休業に入る前、必ず指導や啓発を行う。非常に難しいのは、学校ではスマホ持ち込み禁止、タブレットはあるが基本的に授業の中での使用で、家庭での使い方は、学校も苦慮するところである。これからの時代は使うなというのは、もうナンセンスになってきている。今後セーフティ教室において、使い方もだがファクトチェック等見分ける力を育てていくことが大切である。喫緊の課題と考えている。【定森委員】

☆情報を連携し、検討いただきたい。【金野委員長】

☆評価の決定：優：大きな課題であることを踏まえてほしい。【金野委員長】

#### 目標 I-2 人権・男女平等に関する教育・啓発

##### ① 学校教育における人権・男女平等啓発

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	優	優	優

☆学校側からみて定森委員、何か補足等いかがか。【金野委員長】

◆人権ということで、指導計画が毎年あり、それに沿うのと、日々の中での何気ない大人の言葉とか、昨今ではやらないが、男の子は青の表示、女の子は赤の表示を、もうやらないとか、全員を「さん」付けで呼ぶ等細かい所を大切にしていくことが頭に入っていくことなので大事にしている。教員側の方としても、2月に中学校の教員の研修全体会でLGBTQの当事者の方を招いて話を聞いた。本校でも今年セーフティ教室でその方から話を聞く予定。積極的に働きかけを行うことが大事である。【定森委員】

☆評価の決定：優【金野委員長】

## ②家庭・地域等における人権・男女平等啓発

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	良	優	優	優

☆様々な取組を行っており男性の参加率も向上し、非常に積極的な成果が出ている。一方、もう少し向上できる分野であるのご意見もある。b評価が多くありますが、向井委員いかがか。【金野委員長】

◆記載されている内容を見ると、できた、できた、ときていて、課題と今後の予定の欄も特段現状出来ているので、継続していくという表記で、担当者評価欄のbを見なければaとなるところがbなので、どんなところを課題として考えているのか、ちょっと読めないところがあったので記載した。良としたのは、担当者評価が80%以上でちょうど80%で評価基準上も迷ったが、読むとまだまだ課題も挙げられており向上できると期待し良とした。【向井委員】

☆ご指摘のとおり、b評価と判断したのが、どこが不足していると考えているのか、その情報も記載があるとより評価しやすいことも、伝達願いたい。【金野委員長】

☆評価の決定：優【金野委員長】

## 目標 I 3 多様性への理解の促進

### ① 多様性を認め合う意識づくり

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	良	良	可	良	良

☆新しい取組なので今後の取組に期待という意見がある。可とした森川委員いかがか。【金野委員長】

◆事業が多様性に関することだが、人権週間に合わせて実施ということで枠が大きすぎて、多様性に言及した取組がなされているのか評価がわからない。【森川委員】

☆確かに多様性の尊重に関する集計等を行おうとしたら、人手が足りず集計できていないという記載がある。例えばこれは年度ごとにテーマ付けを行っているのか。【金野委員長】

◇広く人権について取り扱う週間であり、多様性にのみ重視しているわけではない。啓発について働きかけを行いたい。【事務局】

☆呼びかけ方も、もう少し強調してほしい。牧野委員から小中学生やその保護者には意識啓発となると考えられるが、市民への啓発効果は限定的であると意見があり、何か、より広範囲に啓発できるアイデア等あるか。【金野委員長】

◆人権週間に合わせて市役所のロビーで展示だが、特に多様性を認め合う意識づくりというテーマで特化しているものはないということ。気になったのは毎回この書き方でこの課題なので、集計したとしても

人権週間としての集計であり意味がない。現状は仕方ないが、課題と今後の予定がこのままであるならば、検討しているとか書いてあれば良い。【牧野委員】

☆このままこれ以上やりようがない様子であれば、このままでということになってしまう。現在の取組の枠組み以外に何か検討願いたい。【金野委員長】

★全く同じ内容を見せられても。委員会としても、良い提案があれば検討したい。【柴田副委員長】

☆評価の決定：良：今後の発展に期待する。【金野委員長】

## ② 性の多様性に関する啓発及び性的マイノリティへの支援の充実

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	良	良	良	良	良

☆特に効果の点で、あるいは専門相談体制の必要性はどれくらいあるのか、もう少し参加者があっても良いのではないか等の意見がある。上川委員の相談体制についての質問に対する回答があるが、いかがか。

【金野委員長】

◆人権身の上相談は2名の人権擁護委員で担当し、人権擁護委員の中に専門知識を持つ者がいないとあり、これから先、専門知識を持つ委員の方を確保する方向性なのか心配である。【上川委員】

◇主管課では専門的な知識を持つ委員を積極的に決めるのではなく、定員の8名の所7名と欠員中。相談も委員を順番に一日2名交代で配置している。専門に関しては、東京都でその相談体制があり、今後検討の余地があるのではと働きかけたい。【事務局】

☆牧野委員の意見にもあるが、必要性がなければ相談先を必ずしも設置しなくても、他に相談機関との連携があれば、そちらに案内するという方針でも良いのでは。柔軟に考えても良い。【金野委員長】

★調べたところ人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、市町村が必ず設置する専門委員とある。その方々が専門性を持っていないというのは、市としてもあまりよろしくないのではないか。法務省から徽章も与えられ無給であるが委嘱されている委員である。当委員会の管轄ではないが、委員そのものに関する研修等や専門性の向上があっても良いのでは。【柴田副委員長】

☆性の多様性に関する専門を。【金野委員長】

◇人権に関する専門はある、性の多様性という専門ではない様子。【事務局】

★それも人権に含まれるところである。当委員会からのリクエストとして性に関する専門性の確保を願いたい。【柴田副委員長】

☆評価の決定：良：【金野委員長】

## 目標Ⅱ 4 あらゆる分野における女性活躍の推進

### ① 女性の活躍推進に向けたポジティブ・アクションの普及啓発

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	良	良	良	優

☆事前の意見が分かれている。課題を意識しての評価であるか。向井委員、森川委員、定森委員、何か意識されたことがあったか。【金野委員長】

◆担当者評価が83.3%、80%を超えているので基準で行けば優だが、普及啓発なので広報を強く促進していかなくてはならない。「目につきやすい場所に配架し」とあるが、実際に置いてあるだけでどれ位の普及啓発できているのか、これで優なのかと思い、直接手渡ししても普及促進が足りているのか、手渡しするタイミングがあればさらに良いと思い、厳しめに良とした。【向井委員】

◆女性しごと応援キャラバン、去年も好評で、定員も増やしてさらに参加数も多く、優でも良いかと思った。より多くの人が参加できるよう、来年度に向けて機会の増加を願いたい。定員があるのは会場の制約か。【森川委員】

◇そのとおりである。当初定員は40人であったが、詰めればもう少し入るということで66人まで受け付けたが、当日参加者は43人であった。テーマも良かった。【事務局】

☆機会を確保できるのであれば願いたい。定森委員はいかがか。【金野委員長】

◆先程出た意見と同じで、数値的には優でも良いが、より積極的な周知啓発という点でもう一工夫欲しいという期待を込めて良とした。【定森委員】

◆今までに比べると良く活動を進められている印象、活動が進められたと感じたから優とした。【長谷部委員】

◆同意見である。まず開催出来たことが、かなり前進したと判断した。女性活躍と言って就労していない方が働くとか、いきなり女性だらけにすることは無理があり、男女別の差別とを感じる。共同参画とは言えない。適正な能力に合わせていくことが良い。まずは開催したという事。周知についてもLINEでも確認したが、紙媒体でも見かけることがあった。【牧野委員】

◆管理職・リーダーに女性が少ないのが現実である。だが参加者数も多くなってきて、もっともっと力をいれていただきたいと期待しながら優とした。【上川委員】

★各委員の意見とほぼ同意見である。個人評価としては優で良い。進展があったものに関しては、当委員会ではまず積極的に評価するという姿勢があるのが良いのではないかな。良を付けられた委員からの貴重な意見もあったので、コメントとして残して参考にしてほしい。【柴田副委員長】

☆評価の決定：優：一層計画的に推進願いたい。【金野委員長】

## ② 女性のキャリア形成に向けた支援

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	優	優	優

☆皆様からの事前の評価から、取組が充実している等、積極的なコメントがあった。同意見を記載内容から読み取った。【金野委員長】

☆評価の決定：優【金野委員長】

## ③ 市職場内及び市主催事業、審議会等における女性参画の推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	優	優	優

☆積極的に取り組んでおり、皆様のコメントも積極的な評価。一方、コメントの方向性が重なる部分として、性別にとらわれない登用となっているが、数字にとらわれているのではないかな。細かい数字にとらわれるよりは、適材適所で本人の意向を勘案して適切な登用を。登用自体を、透明性や公平性、納得性を積極的に推進する事で、結果的に性別にとらわれない登用を目指すというような考え方の強調を。現状としては十分として今後に向けて、さらなる改善を期待する。【金野委員長】

☆評価の決定：優【金野委員長】

## ④ 地域における女性リーダーの育成

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	良	良	良	優	優

☆毎年少し課題がある項目。取組の限界があるとの意見もあるが、良の判断の委員より少し意見を伺えるか。森川委員から新規に立ち上げられた自治会への働きかけが有効との意見があるが。【金野委員長】

◆たまたま職場につつじが丘の自治会長さんが来たのでインタビューした。ピンとこないと言っていた。地域の活発な活動をしてくれそうな女性は、みんなヨガに行ったりテニスに行ったり、誰もやってくれそうな雰囲気でないと言われた。難しいのかなと。30代から40代、若い世代からアプローチも大事なのかと感じた。【森川委員】

☆地域と言っても、より若い世代にもアプローチも良いかと考える。長谷部委員の「編集委員を担う中で、新たな活動を開始した方の活動はどのようなものか」という質問に「子育て中の方のトーク広場である」という回答があるがいかがか。【金野委員長】

◆こういう活動を行っているのだと勉強になった。話は変わるが、森川委員の話を聞いて、マンションの自治会にアプローチという形でいうと、自身マンションに住み、自治会があるが、昔からの自治会と比べるとつながりはものすごく薄い。自治会で例えば年に1回の運動会があり、マンションのような新規の自治会が参加しても他の自治体の方から、「大丈夫、大丈夫、何もしなくて良いよ」と言われ、どちらかというと「あなたたちわからないでしょ」という形で対応をされることが多い。マンションの方で自治会に積極的に参加されている方は周りにはいない。いたとしても他の自治会の方から孤立し、受け入れてもらえない現状がある。自治会に関してはどこも人数が減っているのと、高齢化が進み存続自体ができていないところも増えている。中学校のPTAで、自治会の方とつながりはあるが、どこも高齢の方が活動している。どこの自治会も人を探している。でもどこも活動する人がいない。どうやって増やせばいいのかわからないままで、皆さん年を重ねて、ずっとその人たちで活動しているというのが現状なので、評価を良とした。もう出来ることが無いのでは。市として行政として何ができるのだろうか。アイデアが全く浮かばない。【長谷部委員】

☆マンションの自治会はマンションにお住まいの方で組織されるのか。市に登録している？【金野委員長】

◆市に登録している自治会である。マンションが建つと新規に立ち上げる形となる。【森川委員】

◆自治会としては存在するが、いろんなところから集まった方達なので、その地区自体にそもそも詳しくない。その方たちが何かやろうと思っても、わからないし、そもそもそんなに積極的ではないし、地区のことが分からないと参加できない。なんとなくそんな感覚を持っている。他の地区と関わっている方との温度差があると感じる。そこまで熱量を上げていくのが難しいか。一朝一夕にはできない。おそらくこういう取組は必要。効果をすぐに期待するのは、結構難しい。【長谷部委員】

☆長谷部委員の質問、挙げていただいた事例などは純粋に素晴らしい。女性リーダーというのは、別に組織の長であることをイメージすることはなく、地域の課題をどんな小さくものでも身近な課題を解決するような活動する人材、それを育てる地域のリーダー、そんな考え方もあり得る。長である必要はなく個別の活動を率先してやっていく。そういう人材を積極的に発掘したり、もしくは育成する。そういう方向性で、こういう事例を大々的に紹介するとか、身近な課題を私も何かやってみようかなという意欲のある方、問題意識のある方というのはおそらく沢山いるのではないかな。こういうことを何かサポートできたら面白い。そういう形で多面的にアプローチされることも考えられる。【金野委員長】

◇自治会の加入割合の方が30%を切って20%台である。生活コミュニティ課の方で、「まち活」というホームページを作成し、いろんな活動しているものについてまとめて掲載しているものがある。私どもの方でも取組の内容を、地域と言っても、自治会連合会に絞る必要がないのかなと、今皆様の意見を聞き考える。【事務局】

☆情報提供を広くこの項目でも積極的に。あらたな力を活かそうである。【金野委員長】

◇a d a p tといって公園を掃除する方、花を増やしていこうという活動をしている方、自分達の健康の



ための活動をする方もいる。取組の内容も来年度ちょっと広く書くよう、働きかけたい。【事務局】

- ◆昭島市の自治会の方の状況を見て、トップは男の人だが、本当に実際に主に活動しているのは女性というのも多々ある。自治会だけでなく、他の何か地域の委員会。役所がどこまでをリーダーとするのか、必ずしもトップとは限らない。そういう女性の方々は、たくさんいるしそういう方は、今後もおそらく興味を持っておられる方がいる。PTAもそうである。実際そういう方が活躍している。そういう感じでいいのかとも思う。【長谷部委員】

☆評価の決定：良：そのあたりのアプローチを広げれば、その評価を含めての評価とする。【金野委員長】

## 目標Ⅱ 5 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの実現

### ① ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	良	良	優	優

☆事前評価、優が4名、良が2名。率先して実施しているとの積極的なコメントがある。一方で、ノー残業デーは月2回では少ないというコメントもあり、週1回は欲しい。年齢間のギャップ等があるが進めていってほしいとの意見もある。ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進という事で、基本的には普及啓発が主となる事業であるが、いかがか。皆様から補足はあるか。【金野委員長】

- ◆評価良ということで、数字上86.7%で、かなり厳しいこと、難しいことを言っている認識はある。なかなか多分難しい。内側からは働きかけが結構難しい。外側からあえてこう言ったことで良くなればいいという期待を込めて、厳しいことを書いた。【向井委員】

☆評価の決定：優：大変重要なお指摘、是非そのような意見があったことも踏まえて伝達願いたい。【金野委員長】

### ②事業所におけるワーク・ライフ・バランスについての意識啓発

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	優	良	良	良	良

☆こちらは少し厳しめの評価となっている。優が1名、良が5名。牧野委員以外の皆様、良の評価だが、特に強調すべき点や補足あるいはご助言、ご提案など何かあるか。【金野委員長】

- ◆28番の職員課だが、男性の育児休業の取得率は上がっているが、介護休業については、記載がないのは数値的にどうなのか。【森川委員】

◇確認はしていないので、次回、回答ということでよいか。【事務局】

☆男性に限らず、介護休業取得実績はどのぐらいなのか全体として教えて欲しい。参考になる。

今回は、パネル展を開催された。とても素晴らしい取組である。このパネル展というのは具体的に、どういうものだったのか。【金野委員長】

- ◆アキシマエシス国際交流教養文化棟にギャラリーにて、男女共同参画に関するパネルを色々と掲示した。育児介護給付制度についても、制度の紹介及び変更点を貼り出した。【事務局】

☆必ずしも事業所におけるワーク・ライフ・バランス、事業所に、対して啓発するだけではなく、市民一人一人に周知することで自身の職場に対して、様々、要求することは非常に重要である。両面から働きかけることは大切。是非継続を。【金野委員長】

☆評価の決定：良：さらに、向上推進を願いたい。【金野委員長】

## 目標Ⅱ 6 家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの実現

### ① 子育て支援サービスの推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	優	優	優

☆皆様から優の評価が多く、非常に手厚く取り組まれている。一部、これだけ需要も増加している中で、積極的に対応していることが評価される一方で、やはり待機児童がゼロにはなっていないということで取り組んで欲しいという委員の意見がある。デジタルツールの積極的な活用なども非常に評価。そういった取組が素晴らしいとの意見がある。【金野委員長】

☆評価の決定：優：【金野委員長】

### ② 介護支援サービスの推進

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	優	優	優	良	優	優

☆良の評価の森川委員いかがか。【金野委員長】

◆相談件数からすると、本当に苦労されていると推察する。優でもいいが、現場の意見で言うと、介護が必要になった方が相談者の場合、話が早い、（高齢の）配偶者が相談者の場合、本当にケアマネジャーさんが苦労している。相談者として一度認知されてしまえば、ケアマネジャーさんがオートマチックに進めるが、認知されるまで、その前の段階で、困っているが、どうしたらいいのかわからないという方々に対し、もう少し努力が必要だと感じる。件数が多いという現場の状況があるのであれば、そこを改善する必要がある。【森川委員】

☆具体的に説明があればよいという事か。相談したくてもわからないということか。【金野委員長】

◆困っているが、何をどうしたらいいのか。細かく言うと要支援と要介護では、相談場所が違うこともあり、とても複雑で、その理解が難しい。【森川委員】

☆よりわかりやすい情報提供、支援の仕組みなどの説明を願いたい。【金野委員長】

☆評価の決定：優：引き続き、より利用しやすい情報提供の検討願いたい。【金野委員長】

### ③ 男性の家事・育児・介護等の参画の環境整備

	長谷部委員	牧野委員	向井委員	森川委員	定森委員	上川委員
評価	良	優	優	優	優	優

☆こちらは優が5名、良が1名の評価。取組に関して評価され、意見が多数あった。良の意見の長谷部委員、少しご説明を。【金野委員長】

◆評価した点としては、昨年か一昨年に、この委員会でスポーツ現場におけるハラスメント等に関して講座の開催を提案した。昨年度、スポーツ指導のリスクマネジメント講座を開催され、委員会での意見がちゃんと伝わり、大変ありがたく感じた。一方で、評価を1個下げた理由は、10年位前に委員会で提言したが、総合スポーツセンターでイベントがあり、子供2人を連れて行ったときに、親子一組なので子供2人で参加できない事があった。おそらく当時は安全面の問題であるかと解釈したが、今回、市民会館・公民館で同様な問題が起こり、情報が共有されていないという点で評価を下げた。時代が多様化している中で、親子一組という形で確保するならば、定員が2人という想定は、時代にマッチしていないという感じがする。

子供2人の家庭で、もしシングルの家庭であればこういうイベントには全て参加できませんというのは、  
どうなのかなと思う。その点で評価を下げた。【長谷部委員】

☆スポーツイベントなどだと、おそらく安全面かとも思うが、今回の市民会館は音楽イベントであったか。  
【金野委員長】

◆今回は親が2人、子供が1人だった。逆のパターンを切ったようだ。そういうところがどうなのかなと。  
もう少し受け皿を広くできるのではないか。【長谷部委員】

☆改めて強調して検討し伝達願いたい。【金野委員長】

☆評価の決定：優：【金野委員長】

### 3 その他

◇第6回次回推進委員会は、8月6日(水)午後6時30分から男女共同参画センターにて開催し、男女共同  
参画プラン目標Ⅲ、Ⅳのご審議をお願いしたい。

また、第7回委員会は10月8日(水)に開催し、その際は、事務局にて報告書の案を作成するため、総  
合的な評価及び提言のまとめとして、報告書の内容についてご審議願いたい。会議後にご意見を反映さ  
せた報告書をメールにて皆様にご確認頂き、報告書を作成する。その後、10月下旬に委員長から市長へ  
の報告を予定している。【事務局】

☆それでは、第5回の推進委員会を終了する。次回もお願いしたい。ありがとうございました。【金野委員  
長】